

成果指標 検証票

施策名	2-(9)-イ-②	所有者不明土地問題の抜本的解決									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6						
所有者不明土地管理解除率	%	23.2	23.3	24.2	24.2	24.2	100.0%	目標達成			
			計画値								
			23.5	23.9	24.2						
担当部課名	総務部管財課										
達成状況の説明											
市町村管理分を含めた所有者不明土地の管理解除率24.2%を目標値としていたところ、令和5年4月に施行された所有者不明土地管理制度を利用することにより、令和5年度は32筆の管理解除が実現できたが、令和6年度は申立てが2件あったものの解除には至っていない。											
要因分析											
類型	説明										
⑥ その他個別要因	制度を利用し、取得することが可能となっているが、長期にわたる裁判の煩雑さに加え、弁護士費用、土地購入代金などの費用が申立者の大きな負担となると推測された。										
⑮ その他個別要因	戦後80年が経過し、関係者の高齢化や土地周辺の風景の変容、周辺住民の移り変わりにより証人、物証確保が困難であり、真の所有者への返還が進んでいない。										
③ 周知・啓発の効果	令和5年4月施行の所有者不明土地管理制度の円滑な利用に向けて、定期的な国、市町村及び関係機関との意見交換や検討会を実施するとともに、周知・啓発にも努めて管理解除率を上げていくことができた。										

(様式3) 「成果指標」 検証票

対応案					
今後も引き続き令和5年4月施行の所有者不明土地管理制度の円滑な利用に向けて、国、関係市町村および関係機関との意見交換や検討会を実施するとともに、周知・啓発にも努めて管理解除率を上げていく。					
関連する主な取組					
施策番号	2-(9)-イ-②	主な取組名	管理地パトロールの実施	対応課	管財課
成果指標への寄与の状況	県内各地に点在する所有者不明土地の占使用や危険箇所の有無（フェンス設置など）、除草作業の必要確認などパトロールすることで、管理地の保全に努めた。				
要因分析	要員が限られているため年間200筆を目標にパトロールするには8年近く要する事になる。				
対応案	引き続き目標を達成するため、年間200筆のパトロールを実施していく。				
関連する主な取組					
施策番号	2-(9)-イ-②	主な取組名	所有者不明土地関連法による解決を踏まえた財産管理制度利用希望調査	対応課	管財課
成果指標への寄与の状況	所有者不明土地管理制度を用いて所有者不明土地の解消を図ることが期待されている土地が一定数あることが明らかになった。引き続き、制度を周知し活用して所有者不明土地の解消に向け各市町村とも連携を続けていく。				
要因分析	令和5年4月に施行された制度のため、実績数が多くない。				
対応案	今後も制度の周知、弁護士、関係市町村と連携を強め情報の共有を図り、裁判所への所有者不明土地等管理命令申立てに活用する。				

(様式3) 「成果指標」 検証票

関連する主な取組					
施策番号	2-(9)-イ-②	主な取組名	国、市町村及び関係機関との意見交換	対応課	管財課
成果指標への寄与の状況	県や各市町へ所有者不明土地についての問い合わせが有り、令和5年4月に施行された所有者不明土地管理制度の説明をする機会が増えた。				
要因分析	検討会等を通じて情報の共有がされ改善点や問題が明確になった。運用の実態と課題の整理が出来ることで、現状の把握が可能になった。				
対応案	今後も引き続き、国、各市町村及び関係機関との意見交換を実施して、円滑な利用を促進していきたい。				
関連する主な取組					
施策番号	2-(9)-イ-②	主な取組名	所有者不明土地関連法の調査研究	対応課	管財課
成果指標への寄与の状況	検討会において、所有者不明土地管理制度の趣旨の確認やケーススタディに関する協議を行ったことから、円滑な利用に繋がった。				
要因分析	分筆行為や筆界特定行為の費用負担について、申立人の負担となるか管理人の管理行為として還付されるかなどの実際の細かい業務までの協議が行われた。				
対応案	今後も検討会等を通して調査報告や運用実態の課題など確認し、どの地域で管理解除をする場合でも同様の処理方法で実施されるよう、情報共有していく。				

成果指標 検証票

施策名	5-(2)-エ-④	特色ある私立学校づくりへの支援														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
私立学校（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）の定員充足率	%	82.3	82.7	81.4	81	83.3	-130.0%	達成に努める								
			計画値													
			82.6	83	83.3											
担当部課名	総務部総務私学課															
達成状況の説明																
R6年度の定員充足率については、私立幼稚園は、61.3%、小・中・高等学校は、86.2%となっている。 幼稚園については、認定こども園への移行や、定員減などの見直しが毎年行われていることから、適正規模の定員へ移行する見込みであるため、目標値の達成に努めるとした。																
要因分析																
類型	説明															
⑫ 社会経済情勢	制度改正や保護者の需要の変化等に伴い、認定こども園の需要が高まっている。 そのため、私立幼稚園から認定こども園への移行や、私立幼稚園の定数減などの見直しが行われており、私立幼稚園単体としての定員充足率は低調となっていると推測される。															
対応案																
私立学校の建学の精神に基づく特色ある取組を支援し、さらなる定員充足率の向上に努める。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(2)-エ-④	主な取組名	私立学校教育改革推進	対応課	総務私学課
成果指標への寄与の状況	県内私立学校16校に対し、私立学校への特色ある取組を支援することで、各私立学校の魅力の向上が望まれ、定員充足率の向上に寄与した。				
要因分析	特色ある取組を行っている全ての学校に対して適切に助成を行っていることから、定員充足率の向上に寄与していると思料する。				
対応案	引き続き、私立学校への特色ある取組を支援することで、定員充足率の向上に寄与していく。				
関連する主な取組					
施策番号	5-(2)-エ-④	主な取組名	私立学校運営費等支援	対応課	総務私学課
成果指標への寄与の状況	県内私立学校17校の私立学校に対して運営費等を助成する事により、学校経営の健全化や在籍する児童・生徒の経済的負担の軽減を図ることで、定員充足率の向上に寄与している。				
要因分析	私立学校を設置する全ての学校法人に対して、運営費等を助成できていることから、定員充足率の向上に寄与していると思料する。				
対応案	引き続き、私立学校を設置する学校法人に対して運営費等を助成する事により、学校経営の健全化や在籍する児童・生徒の経済的負担の軽減を図ることで、定員充足率の向上に寄与していく。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(2)-エ-④	主な取組名	私立学校施設整備支援	対応課	総務私学課
成果指標への 寄与の状況	学校法人が行う私立学校の施設整備に係る国の補助制度の情報提供を行い、児童・生徒の学習環境を整えることで、各学校の魅力向上に繋がり、定員充足率の向上に寄与した。				
要因分析	私立学校に対し、施設整備に係る国の補助制度の情報提供を行った結果、児童・生徒の学習環境が整い、定員充足率向上に繋がったと考える。				
対応案	引き続き、学校法人が行う私立学校の施設整備に係る国の補助制度の情報提供を行い、児童・生徒の学習環境を整え、定員充足率の向上を促進する。				

成果指標 検証票

施策名	5-(3)-ウ-①	高等教育の魅力向上と地域貢献機能の充実														
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況								
			R4	R5	R6											
県内大学の志願倍率	倍	2.91	2.78	2.71	2.51	3.04	-307.7%	達成は困難								
			計画値													
			2.95	3	3.04											
担当部課名	総務部総務私学課															
達成状況の説明																
令和6年度県内大学入学者選抜実施状況（令和7年度入学者の選抜実施）は、募集人員4,562人に対し入学志願者数は11,470人で志願倍率は2.51倍（国公立3.16倍、私立2.05倍）であった。本数値は令和6年度計画値の3.04倍を0.53ポイント下回っている状況にある。 志願倍率算定については、国公立は「令和6年度国公立大学入学者選抜実施状況（文部科学省）」、私立は総務私学課調査による。																
要因分析																
類型	説明															
⑫ 社会経済情勢	県内大学の志願倍率は、令和3年度2.91倍、令和4年度2.78倍、令和5年度2.71倍、令和6年度2.51倍と年々減少しており、大学等進学者数も6,307名（令和5年3月）から6,084名（令和6年3月）に減少している。															
⑫ 社会経済情勢	高等教育修学支援新制度の支援拡充が大学等へ進学を希望する子供やその親にとって大きな支援となっており、大学等への進学率の上昇に加え、もともと県外の大学等への進学を希望しながらも諦めざるを得なかった子供の県外進学への後押しにつながっている。															
対応案																
地域の発展に寄与する魅力ある高等教育環境の充実に取り組む一方、国の制度（高等教育修学支援新制度）支援拡充による県外大学への進学者の増を勘案した志願者倍率を目標値として設定し直す。																

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学の運営支援	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	一般運営費交付金を交付することで、学生の修学環境の充実が図られ、一定程度、志願倍率に寄与したものと考えられる。				
要因分析	一般運営費交付金を交付することで、学生の修学環境の充実に寄与した。				
対応案	引き続き、沖縄県立芸術大学に一般運営費交付金を交付し、その運営を支援していく。				
関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-①	主な取組名	沖縄県立芸術大学の施設整備支援	対応課	文化振興課
成果指標への 寄与の状況	沖縄県立芸術大学に対して施設整備補助金を交付することで、学生の修学環境の充実が図られて一定程度、志願倍率に寄与したものと考えられる。				
要因分析	沖縄県立芸術大学に対して施設整備補助金を交付することで、学生の修学環境の充実が図られた。				
対応案	引き続き、沖縄県立芸術大学に対して施設整備補助金を交付することで、学生の修学環境の充実が図る。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-①	主な取組名	高等教育機関等の設置に係る学校法人等への情報提供	対応課	総務私学課
成果指標への寄与の状況	地域社会や産業の課題解決を図るための教育、研究、地域貢献を通じた人材育成機能の強化につなげるため、高等教育機関等設置希望者への情報提供を実施する。				
要因分析	大学等の高等教育機関及び関係市町村との連携を維持するなど相談体制の継続に努める必要がある。				
対応案	大学等の高等教育機関及び関係機関との連携を維持するなど相談体制の継続に努める。				
関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-①	主な取組名	研究成果の地域社会への還元	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	公開講座等の地域貢献活動・社会連携を通じて、県立芸術大学に蓄積された教育研究成果を社会へ還元する取組として、公開講座等を29回開催したことで、成果指標に寄与したものと思慮する。				
要因分析	地域貢献のあり方や優先順位を整理しながら対応したことで、成果指標の推進に寄与したものと思慮する。				
対応案	引き続き、地域貢献のあり方や優先順位を整理しながら地域貢献活動・社会連携を行っていく。				

成果指標 検証票

施策名	5-(3)-ウ-②	官民連携による「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築と展開									
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値	達成率	達成状況			
			R4	R5	R6	R6年度					
「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築及び大学等と連携して実施する新たな取組数	—	「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築に向けた準備	—	—	1	「地域連携プラットフォーム（仮称）」の構築に向けた準備会合の開催	達成	目標達成			
			計画値								
			—	—	—						
担当部課名	総務部総務私学課										
達成状況の説明											
令和6年度に、地域連携プラットフォーム構築に向けた準備会合を設置。会合を1回開催してプラットフォームの構成員や議論するテーマなどの検討を行った。											
要因分析											
類型	説明										
① 計画通りの進捗	令和8年度を目途とした大学、行政、産業界等で地域連携プラットフォーム（仮称）の設置を目指しており、令和7年度まで準備活動を行う計画である。令和6年度は、プラットフォームの構成員や議論するテーマなどの検討を行った。										
対応案											
地域連携プラットフォーム準備会合を設置等したことを踏まえ、令和7年度は準備会合を3回開催する予定である。											

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-②	主な取組名	地域連携プラットフォーム（仮称）の構築	対応課	総務私学課
成果指標への 寄与の状況	令和6年度に、地域連携プラットフォーム構築に向けた準備会合を設置。会合を1回開催してプラットフォームの構成員や議論するテーマなどの検討を行った。				
要因分析	令和8年度を目途とした大学、行政、産業界等で地域連携プラットフォーム（仮称）の設置を目指しており、令和7年度まで準備活動を行う計画である。令和6年度は、プラットフォームの構成員や議論するテーマなどの検討を行った。				
対応案	地域連携プラットフォーム準備会合を設置等したことを踏まえ、令和7年度は準備会合を3回開催する予定である。				

成果指標 検証票

施策名	5-(3)-ウ-③		産業と高等教育機関等の連携による実践的なキャリア教育の推進							
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
新規学卒者（大学・短大・専門学校）の 就職内定率 （大学）			%	85.7	88.2	89.9	86.8	88.7	36.7%	達成に努める
					計画値					
					86.7	87.7	88.7			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
新規学卒者（大学・短大・専門学校）の 就職内定率 （短大）			%	92	90.3	95.9	95.2	93.7	188.2%	目標達成
					計画値					
					92.6	93.1	93.7			
成果指標名			単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況
					R4	R5	R6			
新規学卒者（大学・短大・専門学校）の 就職内定率 （専門学校）			%	90	90.8	90.6	93	91.4	214.3%	目標達成
					計画値					
					90.5	90.9	91.4			

(様式3) 「成果指標」検証票

担当部課名	総務部総務私学課				
達成状況の説明					
令和6年度における短大及び専門学校就職内定率は計画値を上回っている。一方、大学の就職内定率は令和5年度は計画値を上回っているものの、令和6年度は対前年度比3.1ポイントの減となり計画値を下回っている。県は国の職業実践専門課程の認定を受けた県内専門学校に対して私立専修学校職業教育等振興費補助金により令和6年度に28校に経常的経費の補助を行っているところ。					
要因分析					
類型	説明				
⑥ その他個別要因	大学の就職内定率は県内での内定率は83.5%で前年度比▲4.1ポイント、県外での内定率は93.1%で前年度比▲1.0ポイントと県内での内定率の減の幅が大きい。				
対応案					
専門学校については、引き続き企業等と密接に連携して実践的な職業教育を行う私立専修学校を支援することでキャリア教育の推進を図る。大学、短大においては引き続き、合同企業説明会の開催等により学生の就職支援がなされていくものと考えている。					
関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-③	主な取組名	私立専修学校職業教育等振興費補助金	対応課	総務私学課
成果指標への寄与の状況	国の職業実践専門課程の認定を受けた私立専修学校が増える中、令和6年度は25の学校に対して支援した。				
要因分析	職業実践専門課程の認定を受けた25校に対して支援することにより職業教育の水準の維持向上を図った。				
対応案	国の認定を受けた私立専修学校への事業周知を図るとともに適正な事務執行に取り組む。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	5-(3)-ウ-③	主な取組名	沖縄県立芸術大学における就職支援	対応課	文化振興課
成果指標への寄与の状況	合同企業説明会を開催し学生の就職支援を行うことで学生の就職決定に繋がるとともに、継続して合同企業説明会を開催することで学生の専門性を活かせる就職先を構築することができ、学生の就職内定率の向上に寄与している。				
要因分析	合同企業説明会の開催など就職支援としてキャリア教育を実践することで就職活動の充実に繋がり、一定程度、学生の就職内定率の向上につながったものと考えられる。				
対応案	引き続き、合同企業説明会を開催するなど、卒業後・修了後の就職先確保に向けた支援を行う。				